

石狩から見える山（絵画編）



『石狩川鮭漁の図』（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター蔵）

石狩から見える山については、これまでも何度か（いしかり博物誌）で取り上げてきました。今回は『石狩川鮭漁の図』に描かれた山々の話です。

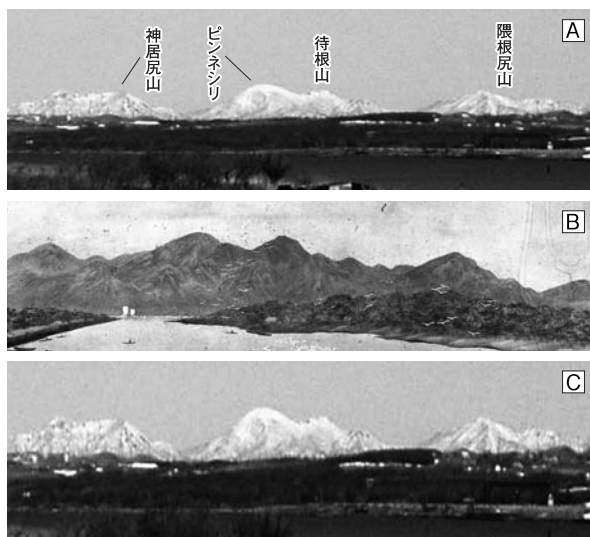
この絵は、石狩市の観光ポスターにも使われており、ご存じの方も多いと思います。明治10年代後半の石狩川河口での鮭漁の様子を描いたもので、作者は分かっています。

さて、これまで背景に描かれている山は、樺戸山地のピンネシリを中心とする山々だと推測されていますが、実際に比較してみましても、本町地区からピンネシリ方面を撮影したのがA、その下のBが『石狩川鮭漁の図』の山々です。似ているようでもあり、何か違うような気もします。そこで、Aの山の高さを1.5倍にした写真がCです。どうですか？ そっくりになったでしょう。つまりこの絵は、高さを5割増しにして強調しているのです。

ところで、この絵にはもうひとつおかしな点があります。遠景ではピンネシリを中心に神居尻山から隈根尻山までが画面いっぱい描かれています。しかし、これだと河口から左岸は画面に入らないはずなのです。

どうやらこの絵の作者は、背景に見える山々からピンネシリ方面だけを切り取り、高さを強調して描いているのです。『石狩川鮭漁の図』には、一種の緊張感がありますが、その理由のひとつは、背景にあつたのです。

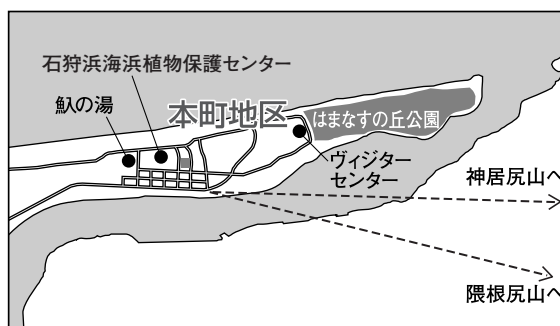
（工藤義衛^{ともえ}）



A 本町地区からピンネシリ方面を撮影した写真

B 『石狩川鮭漁の図』の山々

C Aの山の高さを1.5倍にしたもの



■文化財課・いしかり砂丘の風資料館

☎62-3711

✉bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp



「いしかり博物誌」が番組になりました！

えりすいしかりネットテレビ (<http://www.i-eris.tv/>) でご覧いただけます。